

基礎研 レポート

「東日本大震災による被害・生活環境・復興に関するアンケート」 2019年調査結果概要

福島県双葉町民を対象とした第5回調査

保険研究部 研究員 岩崎 敬子
(03)3512-1882 kiwasaki@nli-research.co.jp

1—基本情報

「東日本大震災による被害・生活環境・復興に関するアンケート」調査は、東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクト（東京大学大学院経済学研究科 教授 澤田康幸、ニッセイ基礎研究所 研究員 岩崎敬子）によって、東日本大震災による原子力発電所の事故で全町民が避難を余儀なくされた福島県双葉町の全世帯主の皆様を対象に2013年から行われてきた調査である（過去実施：2013年7月、2014年12月、2016年7月、2017年12月、2019年7月）。本稿では、2019年7月に実施した第5回目のアンケート調査の結果概要を報告する¹。

表1. 基本情報

対象	福島県双葉町の全世帯主
アンケート配布数	2,950件
アンケート配布日	2019年7月1日
アンケート回収期間	2019年7月1日～2019年10月31日
回答者数	707名
回答率	約24%

アンケート調査の項目には、年齢や性別等の基本的な属性の他、人とのつながり（ソーシャル・キャピタル）や健康状態に関する項目が含まれ（調査項目は、本稿末の資料参照）、アンケート調査用紙は、双葉町の広報が配布されているすべての世帯（2,950件）に配布させて頂いた。また、これまでの調査で住所・氏名をご記入頂いていた方534名へは、これまでの調査と重複した質問を省略した簡易版のアンケート用紙を配布させて頂いた。回答は、全国に避難されている双葉町民707名より頂いた

¹ 本研究は、以下の研究助成によって実施されてきた。記して深謝する。
科研費（15J09313、26220502、LZ003）、日本経済研究センター研究奨励金
また、この調査は東京大学倫理委員会の承認（19-73）のもと実施された調査である。

(広報双葉同封分からのご回答 365 件、簡易版からのご回答 342 件、回答率約 24%)。

本調査は世帯主の方を対象としており、年齢、性別の分布については図1、図2の通りである。このように、国勢調査の年齢・性別分布に比べると、回答者の年齢分布は60代後半以上の方が多く、性別の分布は男性の回答者が多いという偏った分布である。加えて、震災という大変な状況が起こった後にご協力いただいた調査なので、回答者の傾向が一般的なアンケート調査とは大きく異なっている可能性も考えられる。そのため、本調査の結果が、必ずしも双葉町民全体の傾向を示すものではないことにご留意頂きたい。

図1. 回答者の年齢分布

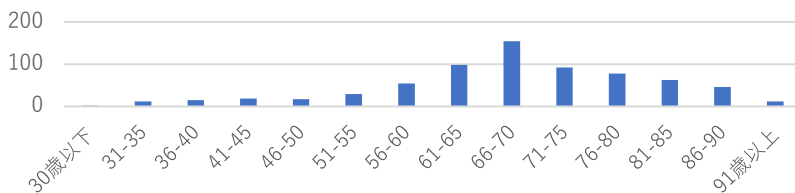
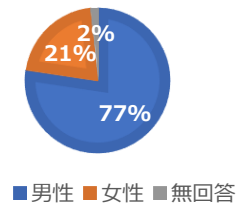


図2. 回答者の性別



2—健康状態について

健康状態について、図3にみられるように、震災前の健康状態については、多くの方が「良い」、または「大変良い」と自己評価をされていたが、震災後の健康状態については、多くの方が「悪い」、「大変悪い」、または、「どちらともいえない」と自己評価されている。2016年の調査結果と比べると、今回の調査では、「良い」と回答された方の割合が増え「悪い」と回答された方の割合が少し減少し、全体的に少しずつ改善傾向があることが分かる。一方で、図4にみられるように、震災前と比較した健康状態の変化についての質問では、多くの方が震災前と比較すると健康状態が悪くなっていると自己評価されており、その分布は2013年からほとんど変化が見られていないことがわかる。

図3. 現在の健康状態

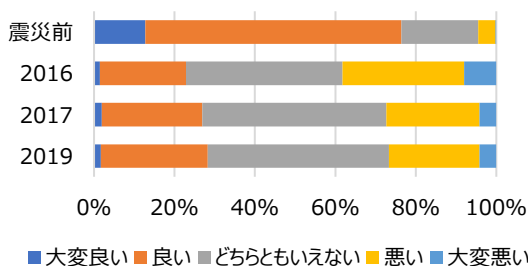
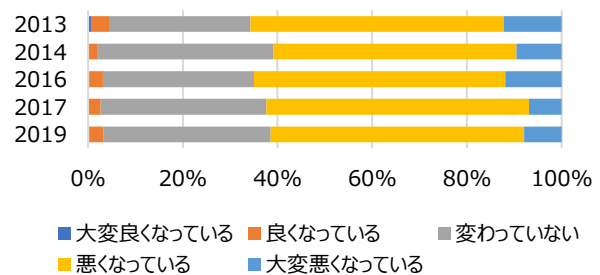
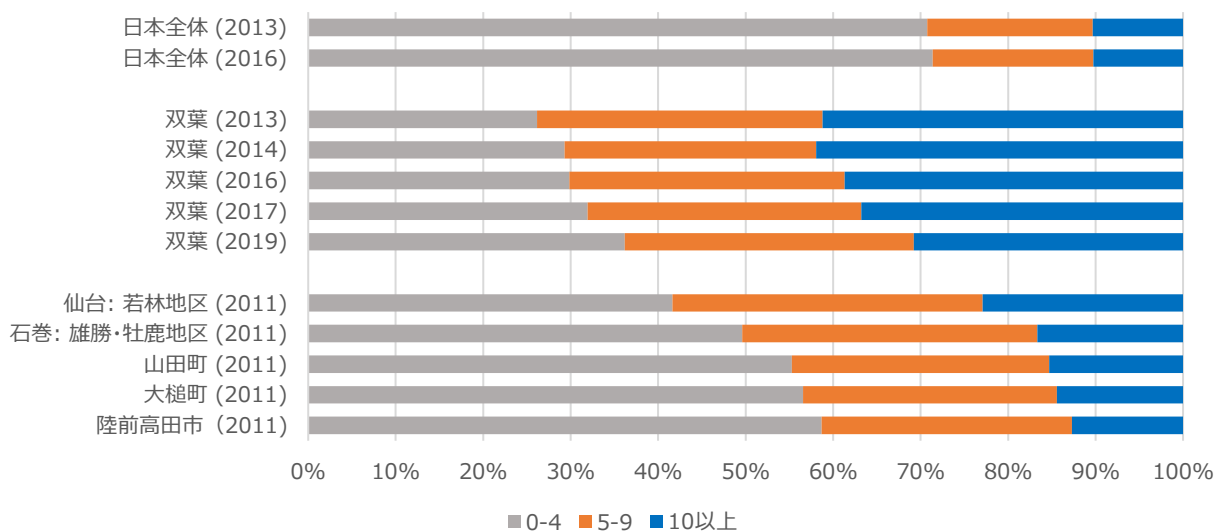


図4. 主観的健康状態の変化



また、こころの健康状態について、双葉町民のK6と呼ばれる全般的なストレス状態を診断する指標の数値の分布は、2013年から2019年にかけて、少しずつ改善していることが分かる(図5参照)。しかし、日本全体の分布や、双葉町以外の被災地で震災直後に行われた調査と比較すると高い値で、回復には非常に長い時間がかかる可能性があることが分かる。(K6は国際的に使用されている全般的なこころの健康状態を示す指標で6つの質問から成り、その合計の点数が高いほど、こころにストレスを抱えている可能性が高いと考えられる。)

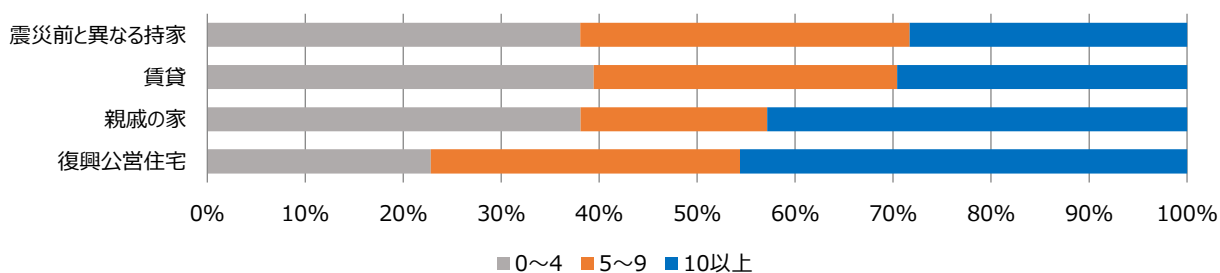
図5. 日本全体、双葉町、その他被災地のK6の値の分布



注) この指標は心理的ストレスの度合いを示すもので、大きな値ほどストレスの程度が高いと考えられる。
 出典) 双葉: 東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクトによるこれまでの調査
 日本全体: 国民生活基礎調査 (2013, 2016)
 その他地域: 東日本大震災被災者の健康状態等に関する調査 (研究代表者: 林謙治) 2012

また、前回までの調査で、仮設住宅にお住まいの双葉町民の方の K6 の値の分布が年々高くなっていることが示されてきたが、今回の調査の回答者では、仮設住宅にお住まいの方はごく少数(6名)だった。そのため今回は、住居種類ごとの K6 の分布を確認した。その結果、図 6 に見られるように、復興公営住宅にお住まいの方の K6 の分布が、震災前と異なる持家や賃貸住宅等にお住まいの方に比べ、高い傾向があることが示された。復興公営住宅に入居してからも継続的なこころの健康サポートが重要であることが示唆される。

図6. 住居種類別K6の分布



注) この指標は心理的ストレスの度合いを示すもので、大きな値ほどストレスの程度が高いと考えらる。
 出典) 双葉: 東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクトによるこれまでの調査

しかしながら、この調査結果が必ずしもすべての双葉町の皆さまに当てはまるわけではなく、K6 の値が高いからといって精神的な疾患があると断定されるものではない。あくまで、政策的な示唆を行政などに与えるための調査であることを申し添える。

3—社会関係資本の変化について

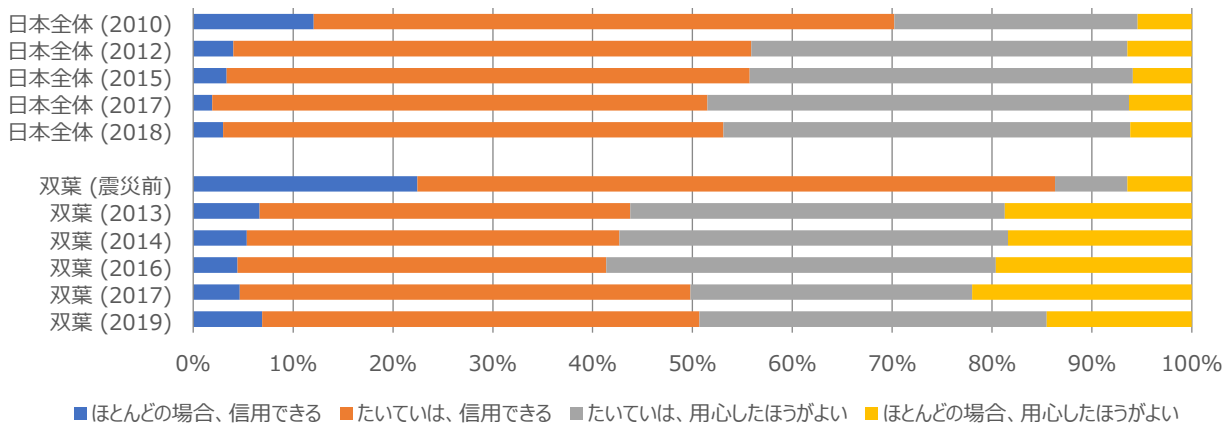
社会関係資本とは、信頼関係やネットワークなどを指し、「きずな」ということばであらわされることもある。この社会関係資本は震災復興の鍵概念として注目されている概念で、本調査でも重点的に分析を行ってきた。これまで実施させていただいたアンケート調査の分析からは、社会関係資本は震災後のこころの健康状態を保つために重要な役割がある可能性がある一方、双葉町では社会関係資本が震災によって弱められている可能性があることが示されてきた。

社会関係資本を図る指標として一般的に使われている指標はいくつかあるが、ここでは3つの項目に注目する。まず、「一般的な人への信頼感」については、2013年から2016年にかけて減少傾向だったが、2017年の調査からは「たいていは信用できる」という回答が増加し、震災から8年以上が経ち、全体的には日本全体の分布とほとんど変わらないレベルまで回復してきていることが分かる（図7参照）。一方で、震災前の双葉町の高いレベルまでの回復にはまだまだ時間がかかる可能性がある。

また、「近所の人との助け合いの頻度」の指標についても緩やかに回復傾向が見られる。さらに、「近所の人への信頼感」についても、2016年以降は少しずつ回復傾向が見られるが、どちらも非常に緩やかな傾向である。社会関係資本の回復には非常に長い時間がかかり、今後もその変化を長期的に注視してゆくことが重要であると考えている。

図7. 一般的な人への信頼感

「一般的に人は信用できると思いますか。それとも人と付き合いときは、できるだけ用心した方がよいと思いますか。」



出典) : 日本全体: 日本版 General Social Surveys 2010、2012、2015、2017、2018
 双葉: 東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクトによるこれまでの調査

図8. 近所の人との助け合いの頻度

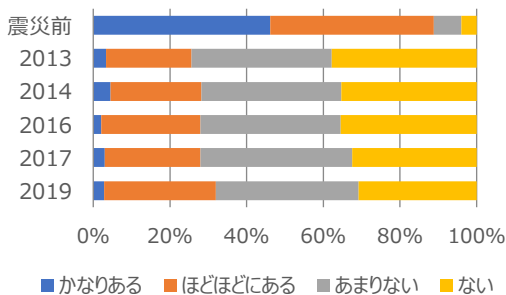
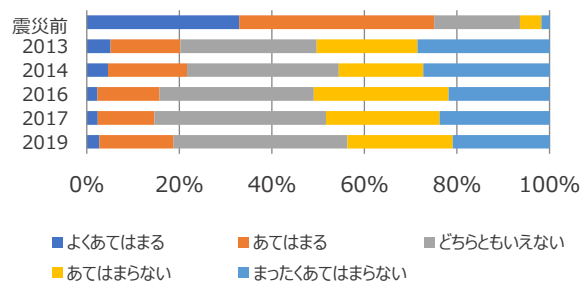


図9. 近所の人への信頼感

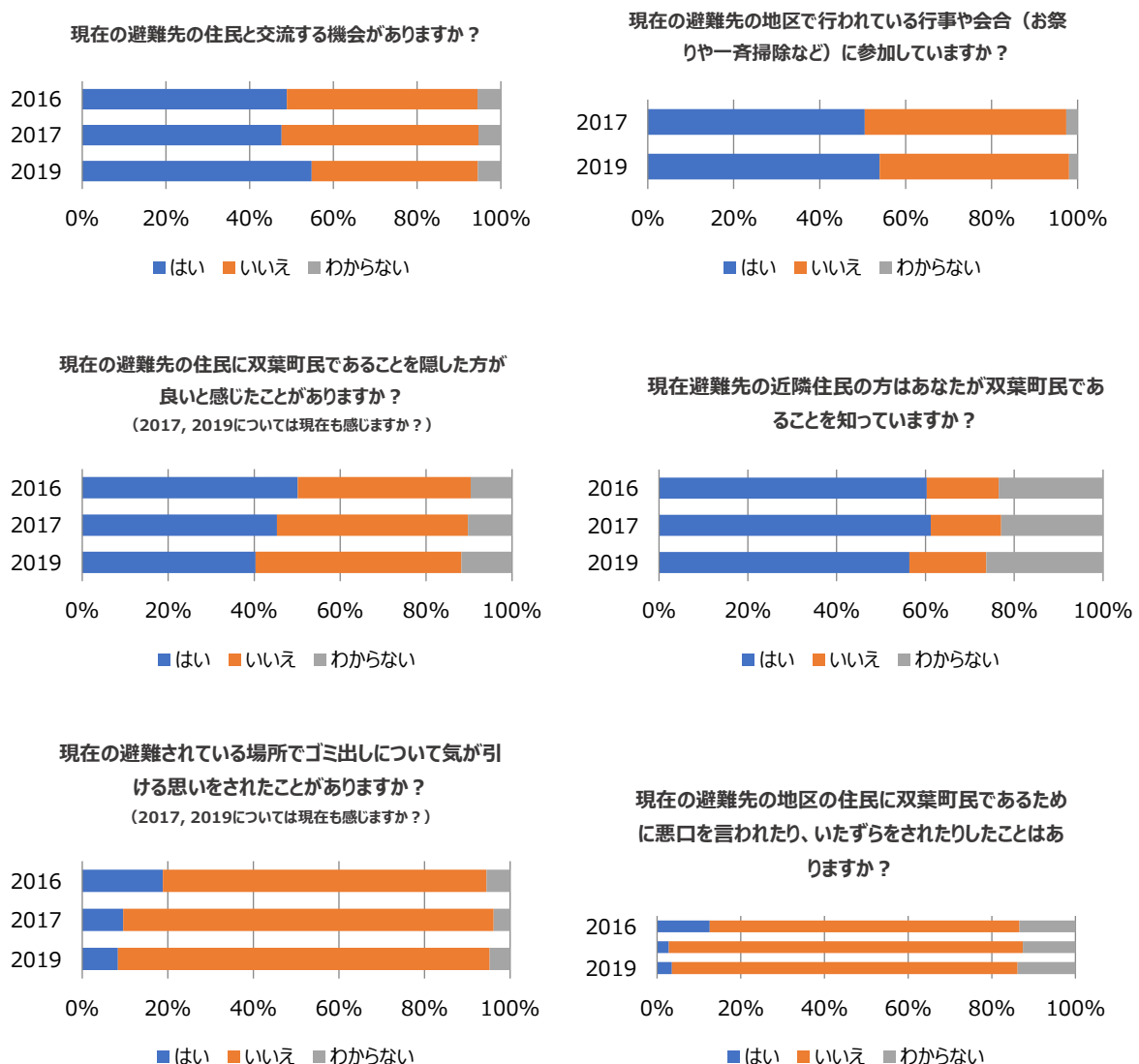
「近所の人には私が困っていたら手助けしてくれる。」



4—避難先の住民の方との関係構築について

長期化する避難生活の中で、避難先の地区の政策や避難先の住民の理解が様々に異なる中で、避難先の住民との新たな関係構築が課題であるというお話を様々な双葉町民の方からお聞かせいただいた。そこで2016年の調査から、避難先の住民の方との関係に関する質問を追加した。図10に示されているように、避難先の住民と交流する機会や、避難先の地区で行われている行事へ参加する人の割合は少しずつ増加傾向が見られる。また、双葉町民であることを隠した方が良いと現在も感じている方や、ゴミ出しについて気が引ける思いをされている方、双葉町民であるために悪口を言われたり、いたづらをされたりされている方の割合も減少傾向が見られる。しかし、現在も約40%の方が双葉町民であることを隠した方が良いと感じていたり、避難先の住民と交流する機会を持っていなかったりすることが確認され、避難先の住民との関係構築は、現在も重要な課題であることが分かる。

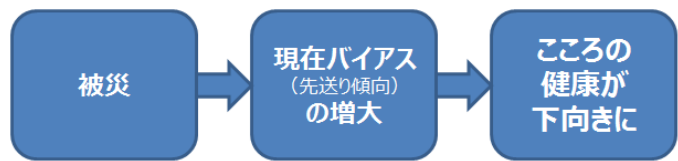
図10. 避難先住民の方との関係について



5—被災とこころの健康のつながりについて

被災によってこころの健康状態が下向きになるというつながりの背後に、被災によって、現在バイアスが增大するメカニズムがある可能性が示された（図 11 参照）。現在バイアスとは、個々人の「物事を先送りする傾向」のこと

図11. 被災とこころの健康のつながり



出典) Sawada Y, K Iwasaki, T Ashida, 2018, "Disasters Aggravate Present Bias Causing Depression: Evidence from the Great East Japan Earthquake", CREPE DISCUSSION PAPER NO. 47

で、肥満や喫煙、過度の飲酒など健康状態の悪化に関わる可能性のある行動と親密に関係していることが知られている。被災地域では、定期的な昼食会や、ラジオ体操等のイベント、無料のランニングマシンの設置、住民同士の交流を促すような復興公営住宅の設計等の活動や政策が行われてきた。こうした活動や政策は、先送り傾向によってもたらされるこころの健康の悪化を防ぐものと考えられ、これまでの調査の分析はそうした活動や政策の有効性を支持する結果であると捉えることができる。しかしながら、被災したからといってすべての方の現在バイアスが增大したり、こころの健康が下向きになったりするわけではない。あくまで、政策的な示唆を与えるための調査であることを申し添える。

6—これまでの5回の調査分析で示唆されたことのまとめ

- (1) 双葉町民のこころの健康状態は他の被災地での調査と比較してもより深刻な状態にある可能性がある。震災から8年以上が経ち、少しずつ改善傾向が見られているが、回復にはより長い時間がかかる可能性がある。
- (2) 中でも、仮設住宅に長期にお住まいの方のこころの健康状態が深刻な状態に置かれていた可能性があったが、仮設住宅にお住まいの方が少なくなった現在も、復興公営住宅の住民の方のこころの健康状態は深刻な可能性があり、継続的なサポートが重要と考えられる。
- (3) 震災による健康状態や所得の変化について、悪化・減少幅が大きいほど幸福感も悪化している傾向があり、震災前の幸福感の状態に回復するには十分な補償が必要であると考えられる。
- (4) 震災で双葉町民の社会関係資本が減少させられ、その回復にはとても長い時間がかかる可能性がある。
- (5) 震災前からのつながりを保つこと、震災後、趣味の会やボランティア活動などに参加することによってこころの健康状態を良好に保つ助けになる可能性がある。
- (6) 避難先の地域の住民との関係構築は少しずつ進んでいる傾向が見られるが、その傾向は非常に緩やかで、現在も重要な課題であると考えられる。
- (7) 被災による現在バイアス（先送り傾向）の増大が、こころの健康の悪化につながる可能性があるが、住民同士の交流や規則的な健康行動を促す政策がそうした健康悪化を防ぐ可能性がある。

これらの結果は国内外の学会で発表し、また国際的な学術誌で発表をしてきている。今後も分析を進め具体的な提案につなげていく所存である。

本調査結果は、調査にご協力頂いた約 24%の双葉町の世帯の方のご回答のみを集計・分析した結果であり、この結果が双葉町民の方全員の傾向を表すものではありません。震災という大変な状況が起こったあとにご協力いただいた調査であるため、回答者の内訳は一般的なアンケート調査とは大きく異なっている可能性もございます。その為、健康状態の自己評価についての集計や、こころの健康状態についての集計においても、過大評価がされている可能性がございます。結果の解釈には十分な注意が必要であり、この調査結果のみによる断定的な判断は避ける必要がありますことにご留意いただければ幸いです。

資料：集計結果

この調査票を記入していただいているのはどなたですか。

回答	頻度	割合
世帯主本人	546	77.23
配偶者	112	15.84
その他	20	2.83
無回答	29	4.10
合計	707	100.00

1. 世帯主についてお聞かせください。

(1) 世帯主の基本的な情報についてお聞かせください。

ア) 年齢 平均: 68 歳 最年長: 104 歳 最年少: 25 歳

イ) 男性: 77.4% 女性: 21.1% 無回答: 1.5%

ウ) 現在のお住まい

全国各地からご回答いただきました。ありがとうございます。

集計結果は省略させていただきます。

(エ) 世帯主の現在のお仕事に一番近いものをお選びください。

	頻度	割合
お勤め(会社員)	105	14.85
お勤め(公務員)	27	3.82
農業・林業	6	0.85
水産業	0	0.00
開業医、弁護士等の自由業	0	0.00
自営業	32	4.53
アルバイト	20	2.83
家事	26	3.68
定年退職・引退	240	33.95
無職・休職中	171	24.19
その他	65	9.19
無回答	15	2.12
合計	707	100.00

(オ) 世帯主の東日本大震災前のお仕事に一番近いものをお選びください。

	頻度	割合
お勤め(会社員)	157	43.01
お勤め(公務員)	34	9.32
農業・林業	26	7.12
水産業	0	0.00
開業医、弁護士等の自由業	1	0.27
自営業	46	12.60
アルバイト	13	3.56
家事	10	2.74
定年退職・引退	36	9.86
無職・休職中	12	3.29
その他	19	5.21
無回答	11	3.01
合計	365	100.00

(2) 世帯主の現在と震災前のお住まいについてお知らせください。

ア) 現在のお住まいの種類

	頻度	割合
仮設住宅	6	0.85
みなし仮設住宅	35	4.95
復興公営住宅	62	8.77
自費による賃貸	34	4.81
震災前と異なる持家	444	62.80
親戚の家	23	3.25
社宅	9	1.27
その他	72	10.18
無回答	22	3.11
合計	707	100.00

・復興公営住宅にお住まいの方は申込方法を選択してください。

回答	頻度	割合
グループ申込	2	3.23
個人申込	54	87.10
無回答	6	9.68
合計	62	100.00

・復興公営住宅にお住まいでグループ申し込みをされた方は一緒に申し込んだ方を選択してください

該当者がごく少数のため省略させていただきます。

イ) 現在のお住まいの土地・住居面積の広さをお答えください。

宅地面積	頻度	割合
0~100 平米	39	5.52
100~200 平米	80	11.32
200~300 平米	129	18.25
300 平米~	197	27.86
無回答	262	37.06
合計	707	100.00

その他の土地面積	頻度	割合
0~100 平米	51	7.21
100~200 平米	9	1.27
200~300 平米	3	0.42
300 平米~	18	2.55
無回答	626	88.54
合計	707	100.00

住居面積	頻度	割合
0~40 平米	24	3.39
40~80 平米	76	10.75
80~120 平米	141	19.94
120 平米~	222	31.40
無回答	244	34.51
合計	707	100.00

ウ) 東日本大震災前のお住まいの種類

	頻度	割合
持家(戸建)	288	78.90
持家(マンション)	5	1.37
賃貸(戸建)	11	3.01
賃貸(マンション)	1	0.27
賃貸(アパート)	11	3.01
公営住宅	12	3.29
社宅	12	3.29
親戚の家に在住	3	0.82
その他	6	1.64
無回答	16	4.38
合計	365	100.00

エ) 震災前のお住まいの土地・住居面積の広さをお答えください。

宅地面積	頻度	割合
0~100 平米	4	1.10
100~200 平米	29	7.95
200~300 平米	29	7.95
300 平米~	174	47.67
無回答	129	35.34
合計	365	100.00

その他の土地面積	頻度	割合
0~100 平米	15	4.11
100~200 平米	2	0.55
200~300 平米	1	0.27
300 平米~	34	9.32
無回答	313	85.75
合計	365	100.00

住居面積	頻度	割合
0~40 平米	9	2.47
40~80 平米	16	4.38
80~120 平米	26	7.12
120 平米~	167	45.75
無回答	147	40.27
合計	365	100.00

オ) 震災前のお住まいは津波の被害を受けましたか？

	頻度	割合
はい	57	8.06
いいえ	607	85.86
無回答	48	6.08
合計	707	100.00

カ) 地震、津波等による双葉町のお住まいの被害状況

	頻度	割合
全壊	111	15.70
大規模半壊	122	17.26
半壊	207	29.28
一部損壊	121	17.11
大きな被害無	81	11.46
その他	38	5.37
無回答	27	3.82
合計	707	100.00

(3)東日本大震災後の合計転居回数

	頻度	割合
2 回以内	63	8.91
3~5 回	373	52.76
6~8 回	201	28.43
9 回以上	38	5.37
無回答	32	4.53
合計	707	100.00

(4) これまで復興公営住宅の抽選で外れたことはありますか

	頻度	割合
はい	13	1.84
いいえ	407	57.57
無回答	287	40.59
合計	707	100.00

(5) 世帯主の最終学歴をお知らせください。

	頻度	割合
高校	191	52.33
専門学校	39	10.68
短期大学	13	3.56
大学	48	13.15
その他	49	13.42
無回答	25	6.85
合計	365	100.00

(6) 震災前後の世帯主の家族・親戚の構成をお教えください。

ア) 現在の家族構成についてお伺いします

① 現在ご結婚されていますか？

	頻度	割合
はい	504	71.29
いいえ	61	8.63
離別	38	5.37
死別	81	11.46
無回答	23	3.25
合計	707	100.00

② お子様はいらっしゃいますか？

	頻度	割合
はい	573	81.05
いいえ	97	13.72
無回答	37	5.23
合計	707	100.00

③ お孫さんはいらっしゃいますか？

	頻度	割合
はい	400	56.58
いいえ	239	33.80
無回答	68	9.62
合計	707	100.00

④ ペットはいますか？

	頻度	割合
はい	164	23.20
いいえ	498	70.44
無回答	45	6.36
合計	707	100.00

⑤ 現在同居している家族の人数は世帯主を含めて何名ですか？

	頻度	割合
一人暮らし	143	20.23
2名	272	38.47
3~4名	194	27.44
5名以上	65	9.19
無回答	33	4.67
合計	707	100.00

⑥ 世帯主から見た同居家族全員に○をつけてください
集計結果は省略させていただきます

⑦ 東日本大震災前に同居していた家族の人数は世帯主を含めて何名ですか？

	頻度	割合
一人暮らし	41	11.23
2名	85	23.29
3~4名	118	32.33
5名以上	84	23.01
無回答	37	10.14
合計	365	100.00

⑧ 世帯主から見た東日本大震災前の同居家族全員に○をつけてください
集計結果は省略させていただきます

⑨ 東日本大震災前の同居ご家族のうち震災後亡くなられたご家族はいますか？

	頻度	割合
はい	207	29.28
いいえ	459	64.92
無回答	41	5.80
合計	707	100.00

⇒ 震災関連死の方の該当

	頻度	割合
有り	68	32.85
無し	109	52.66
無回答	30	14.49
合計	207	100.00

(7) 世帯主の現在の健康状態はいかがですか。

	頻度	割合
大変良い	12	1.70
良い	184	26.03
どちらともいえない	315	44.55
悪い	157	22.21
大変悪い	29	4.10
無回答	10	1.41
合計	707	100.00

(8) 現在の健康状態は、震災前と比べるといかがですか。

	頻度	割合
大変良くなっている	2	0.28
良くなっている	20	2.83
変わっていない	245	34.65
悪くなっている	371	52.48
大変悪くなっている	55	7.78
無回答	14	1.98
合計	707	100.00

(9) 過去 30 日間に世帯主はどれくらいの頻度で次のことがありましたか。

点数基準	全 少 と た い く し き い つ な だ ど て も い け き い				
	0	1	2	3	4
神経過敏に感じましたか。	0	1	2	3	4
絶望的だと感じましたか。	0	1	2	3	4
そわそわ、落ち着かなく感じましたか。	0	1	2	3	4
気分が沈み込んで、何が起ころとも気が晴れないように感じましたか。	0	1	2	3	4
何をしても骨折れだと感じましたか。	0	1	2	3	4
自分は価値のない人間だと感じましたか。	0	1	2	3	4

合計点数 (K6) 分布：

	頻度	割合
0~4点	241	34.09
5~8点	220	31.12
9~12点	96	13.58
13~16点	59	8.35
17点以上	50	7.07
無回答	41	5.80
合計	707	100.00

(10) あなた(世帯主)は、中学生の時、夏休みに出された宿題をいっごうやるが多かったですか。

	頻度	割合
夏休みが始まるとはじめてのころにやった	59	8.35
どちらかというとはじめてのころにやった	155	21.92
毎日ほぼ均等にやった	87	12.31
どちらかというと終わりのころにやった	227	32.11
夏休みの終わりにやった	113	15.98
やらなかった	10	1.41
夏休みの宿題は無かった	12	1.70
無回答	44	6.22
合計	707	100.00

(11) 被災者の方々の避難生活のための環境の変化に伴い、自宅での料理が困難となり、健康被害が懸念されています。震災前と現在の外食の頻度を教えてください。

震災前： 平均 0.7 回/週 現在： 平均 1.3 回/週

(12) 震災前と比較すると体重の変化はありましたか。

	頻度	割合
増加した	121	17.11
やや増加した	193	27.30
変わっていない	154	21.78
やや減少した	145	20.51
減少した	81	11.96
無回答	13	1.84
合計	707	100.00

(13) 東日本大震災前と現在のおおよその体重と身長をお知らせください。
(下記 BMI 値の分布)

	震災前 頻度	現在 頻度
18.5 未満	23	37
18.5～25 未満	395	375
25～30 未満	196	183
30 以上	29	50
無回答	64	62
合計	707	707

(14) 健康問題に関して、被災者の方々の交通の不便による活動の制限が懸念されております。

ア) 震災前と現在の同居家族全体で保有する車の数
震災前平均： 2.3 台 現在平均： 1.7 台

イ) 震災後、車はご購入になりましたか

	頻度	割合
はい	540	76.38
いいえ	129	18.25
無回答	38	5.37
合計	707	100.00

(15) 東日本大震災前と現在の一日の平均的な睡眠時間を教えてください。

震災前平均： 7.1 時間 現在平均： 6.6 時間

(16) 東日本大震災前と現在の 1 日の喫煙習慣と飲酒習慣を教えてください。

震災前と現在の喫煙習慣

		現在の喫煙				合計
		ほ ぼ	ときど	吸 わ	無回答	
震災前 喫煙		毎日	き	ない		
	ほぼ毎日	108	11	83	4	206
	ときどき	2	12	17	0	31
	吸わない	1	3	420	19	443
	無回答	0	0	9	18	27
合計	111	26	529	41	707	

震災前と現在の飲酒習慣

		現在の飲酒				合計
		ほ ぼ	ときど	飲 ま	無回答	
震災前 飲酒		毎日	き	ない		
	ほぼ毎日	177	29	25	4	235
	ときどき	54	113	47	1	31
	飲まない	5	18	193	13	443
	無回答	0	1	7	20	27
合計	236	161	272	38	707	

(17) (近年、「幸福度」の研究が進んでおり、そうした既存研究に従って定型のご質問をさせていただきます。ただし回答は任意です。) 現在、あなた(世帯主)はどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになるとお考えですか

	頻度	割合
0 (とても不幸)	14	1.98
1	23	3.25
2	25	3.54
3	70	9.90
4	59	8.35
5	175	24.75
6	94	13.30
7	84	11.88
8	89	12.59
9	22	3.11
10 (とても幸せ)	17	2.40
無回答	35	4.95
合計	707	100.00

(18) 震災の前後で寿命がどうなったとお考えですか

	頻度	割合
寿命が短くなった	212	29.99
かわらない	399	56.44
寿命が長くなった	58	8.20
無回答	38	5.37
合計	707	100.00

(19) 何歳ぐらいまで長生きしたいと思いますか

	頻度	割合
75 歳まで	50	7.07
80 歳まで	139	19.66
85 歳まで	175	24.75
90 歳まで	123	17.40
95 歳まで	28	3.96
100 歳まで	32	4.53
100 歳以上	14	1.98
できるだけ長生きしたい	111	15.70
無回答	35	4.95
合計	707	100.00

2. ご近所付き合いなどについてお聞かせください。

(1) 震災前、世帯主は、双葉町のどちらの大字にお住まいでしたか。

		頻度	割合			頻度	割合
震災前	石熊	6	1.64	双葉町	鴻草	11	3.01
	山田	27	7.40		細谷	12	3.29
	松迫	0	0.00		下羽鳥	10	2.74
	水沢	2	0.55		中田	2	0.55
	目さく	11	3.01		長塚	110	30.14
	郡山	10	2.74		両竹	5	1.37
	上羽鳥	2	0.55		中浜	10	2.74
	新山	71	19.45		中野	5	1.37
	松倉	2	0.55		前田	29	7.95
	寺沢	4	1.10		無回答	31	8.49
	渋川	5	1.37		合計	365	100.00

(2) ご近所付き合いで、世帯主の家族がものをあげたり、手助けしたり、逆にものをもらったり、助けてもらったりという関係は震災前はどのくらいありましたか？

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
かなりある	148	20	40.55	2.83
ほどほどにある	160	204	43.84	28.85
あまりない	28	261	7.67	36.92
ない	25	216	6.85	30.55
無回答	4	6	1.10	0.85
合計	365	707	100.0	100.0

(3) 近所の人は私が困っていたら手助けしてくれる。

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
よくあてはまる	84	19	23.01	2.69
あてはまる	160	111	43.84	15.70
どちらともいえない	84	261	23.01	36.92
あてはまらない	17	158	4.66	22.35
まったくあてはまらない	12	145	3.29	20.51
無回答	8	13	2.19	1.84
合計	365	707	100.0	100.0

(4) 震災前と震災後の生活について教えてください。

ドアの鍵を開けたまま外出することがよくある。

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
はい	164	56	44.93	7.92
いいえ	185	623	50.68	88.12
わからない	8	10	2.19	1.41
無回答	8	18	2.19	2.55
合計	365	707	100.0	100.0

友人にお金やものを貸すことがよくある

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
はい	91	22	24.93	3.11
いいえ	250	647	68.49	91.51
わからない	12	18	3.29	2.55
無回答	12	20	3.29	2.83
合計	365	707	100.0	100.0

不在の双葉町自宅を含め空き巣被害にあったことがある。

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
はい	61	223	16.71	31.54
いいえ	254	350	69.59	49.50
わからない	35	110	9.59	15.56
無回答	15	24	4.11	3.39
合計	365	707	100.0	100.0

その他の犯罪被害にあったことがある

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
はい	19	60	5.21	8.49
いいえ	304	556	83.29	78.64
わからない	23	62	6.30	8.77
無回答	19	29	5.21	4.10
合計	365	707	100.00	100.00

ほとんどの人は公平にしようとしていると思う。

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
はい	192	254	52.60	35.93
いいえ	42	127	11.51	17.96
わからない	114	293	31.23	41.44
無回答	17	33	4.66	4.67
合計	365	707	100.00	100.00

自分はまわりから信用されていると思う。

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
はい	166	186	45.48	26.31
いいえ	24	64	6.58	9.05
わからない	162	438	44.38	61.95
無回答	13	19	3.56	2.69
合計	365	707	100.00	100.00

(5) 東日本大震災前と現在のボランティア活動や趣味の活動等の参加状況について教えてください。

・ボランティア活動に参加することがある

震災前参加	現在の参加				合計
	はい	いいえ	無回答	合計	
はい	124	156	6	286	
いいえ	33	364	6	403	
無回答	2	8	6	18	
合計	159	528	20	707	

・趣味の活動に参加することがある

震災前参加	現在の参加				合計
	はい	いいえ	無回答	合計	
はい	166	143	13	322	
いいえ	58	285	8	351	
無回答	4	5	25	34	
合計	228	433	46	707	

・同居家族以外で挨拶する人の平均的な人数

震災前平均：13人 現在平均：6人

(6) 一般的に、人は信用できると思いますか。それとも、人と付き合いときには、できるだけ用心したほうがよいと思いますか。

	頻度		割合	
	震災前	現在	震災前	現在
ほとんどの場合信用できる	79	46	21.64	6.51
たいていは、信用できる	192	292	52.60	41.30
たいていは、用心したほうがよい	53	232	14.52	32.81
ほとんどの場合、用心したほうがよい	26	97	7.12	13.72
無回答	15	40	4.11	5.66
合計	365	707	100.0	100.0

(7) 東日本大震災前と現在のお考えについて教えてください

・政府は信用できる

震災前	現在						合計
	強く思う	そう思う	そう思う	全くそう思う	無回答		
強く思う	6	5	6	3	1	21	
そう思う	1	152	127	34	2	316	
思わない	0	13	169	92	10	284	
全く思わない	1	1	1	56	3	62	
無回答	0	1	1	1	21	24	
合計	8	172	304	186	37	707	

・福島県は信用できる。

震災前	現在						合計
	強く思う	そう思う	そう思う	全くそう思う	無回答		
強く思う	13	11	3	3	1	31	
そう思う	6	310	99	21	12	448	
思わない	0	14	114	35	3	166	
全く思わない	1	0	3	24	0	62	
無回答	0	2	3	0	29	34	
合計	20	337	222	83	45	707	

・住んでいる地区の隣人は信用できる。

震災前	現在						合計
	強く思う	そう思う	そう思う	全くそう思う	無回答		
強く思う	17	24	26	6	3	76	
そう思う	5	315	142	29	9	500	
思わない	0	9	64	11	3	87	
全く思わない	0	0	4	11	1	16	
無回答	0	2	1	0	25	28	
合計	22	350	237	57	41	707	

(8) 現在の避難先での交流等についてそれぞれお答えください。

1. 現在の避難先の住民と交流する機会がありますか？

	頻度	割合
はい	377	53.32
いいえ	273	38.61
わからない	38	5.37
無回答	19	2.69
合計	707	100.00

2. 現在の避難先の地区で行われている行事や会合(お祭りや一斉掃除など)に参加していますか？

	頻度	割合
はい	375	53.04
いいえ	306	43.28
わからない	14	1.98
無回答	12	1.70
合計	707	100.00

3. 現在の避難先の住民に双葉町民であるということを隠した方が良いと感じたことはありますか？

	頻度	割合
はい	330	46.68
いいえ	299	42.29
わからない	54	7.64
無回答	24	3.39
合計	707	100.00

⇒ 「はい」の方： 現在も感じることはありますか？

	頻度	割合
はい	271	82.12
いいえ	23	6.97
わからない	25	7.58
無回答	11	3.33
合計	330	100.00

4. 現在避難先の近隣住民の方はあなたが双葉町民であることを知っていますか？

	頻度	割合
はい	388	54.88
いいえ	119	16.83
わからない	181	25.60
無回答	19	2.69
合計	707	100.00

5. 現在の避難されている場所でゴミ出しについて気が引ける思いをされたことがありますか？

	頻度	割合
はい	90	12.73
いいえ	568	80.34
わからない	30	4.24
無回答	19	2.69
合計	707	100.00

⇒ 「はい」の方： 現在も感じることはありますか？

	頻度	割合
はい	57	63.33
いいえ	26	28.89
わからない	3	3.33
無回答	4	4.44
合計	90	100.00

6. 現在の避難先の地区の住民に双葉町民であるために悪口を言われたり、いたづらをされたりしたことはありますか？

	頻度	割合
はい	82	11.60
いいえ	522	73.83
わからない	77	10.89
無回答	26	3.68
合計	707	100.00

⇒ 「はい」の方：現在もされることがありますか？

	頻度	割合
はい	24	29.27
いいえ	35	42.68
わからない	16	19.51
無回答	7	8.54
合計	82	100.00

(9) 双葉町敬老会の参加状況を教えてください

1. 2018年

	頻度	割合
参加	83	11.74
不参加	311	43.99
非該当（70歳未満）	265	37.48
無回答	48	6.79
合計	707	100.00

2. 2017年

	頻度	割合
参加	70	9.90
不参加	311	43.99
非該当（70歳未満）	270	38.19
無回答	56	7.92
合計	707	100.00

3. 2016年

	頻度	割合
参加	64	9.05
不参加	292	41.30
非該当（70歳未満）	291	41.16
無回答	60	8.49
合計	707	100.00

4. 東日本大震災前の2010年

	頻度	割合
参加	113	15.98
不参加	189	26.73
非該当（70歳未満）	333	47.10
無回答	72	10.18
合計	707	100.00

(10) 東日本大震災後、双葉町での居住地区ごとの総会に参加したことがありますか？

	頻度	割合
はい	369	52.19
いいえ	322	45.54
無回答	16	2.26
合計	707	100.00

(11) 現在の居住地域の双葉町民の集まりに参加したことがありますか？

	頻度	割合
はい	275	38.90
いいえ	418	59.12
無回答	14	1.98
合計	707	100.00

(12) 現在の避難先での知人・友人の数についてそれぞれお答えください。

1. 現在の避難先で近隣に震災前からの知人は住んでいますか？

	頻度	割合
はい	337	47.67
いいえ	302	42.72
わからない	53	7.50
無回答	15	2.12
合計	707	100.00

2. 現在の避難先で近隣に、双葉町在住時は知り合いでなかったが避難を通して同じ双葉町民として知り合った方は住んでいますか？

	頻度	割合
はい	255	36.07
いいえ	369	52.19
わからない	60	8.49
無回答	23	3.25
合計	707	100.00

3. 現在の避難先で近隣に親戚は住んでいますか？

	頻度	割合
はい	145	39.73
いいえ	202	55.34
わからない	6	1.64
無回答	12	3.29
合計	365	100.00

4. 現在の避難先で震災後にできた双葉町民の友人はいますか？

	頻度	割合
はい	188	26.59
いいえ	458	64.78
わからない	28	3.96
無回答	33	4.67
合計	707	100.00

5. 現在の避難先で震災後にできた双葉町以外から避難してきた友人はいますか？

	頻度	割合
はい	187	26.45
いいえ	420	59.41
わからない	67	9.48
無回答	33	4.67
合計	707	100.00

6. 現在の避難先で新しくきた避難先住民の友人はいますか？

	頻度	割合
はい	236	33.38
いいえ	386	54.60
わからない	38	5.37
無回答	47	6.65
合計	707	100.00

(13) 年賀状についてお聞きます。

①今年(2019年)の元旦、あなた(世帯主)が送った年賀状はおよそ何枚でしたか

	頻度	割合
0枚	230	13.74
1~10枚	107	17.20
11~50枚	242	31.45
51枚以上	94	8.73
無回答	34	10.14
合計	707	100.00

※0枚のうち喪中の人57名、普段から送っていない人157名

②今年(2019年)元旦の年賀状を送った方にお聞きます。最も早い年賀状は、いつ頃投函しましたか。：平均12月24日頃

③東日本大震災前(2011年)の元旦、あなたが送った年賀状はおよそ何枚でしたか。

	頻度	割合
0枚	85	12.02
1~10枚	46	6.51
11~50枚	243	34.37
51枚以上	255	36.07
無回答	78	11.03
合計	707	100.00

※0枚のうち喪中の人8名、普段から送っていない人72名

④震災前(2011年)元旦の年賀状を送った方にお聞きます。最も早い年賀状は、いつ頃投函しましたか。

平均12月22日ごろ

3. 今後の生活についてお教えてください。

(1) 世帯主は、将来町に戻るおつもりですか。

	頻度	割合
はい	53	7.50
まだ決められない	161	22.77
戻らない(戻れない)	483	68.32
無回答	10	1.41
合計	707	100.00

(2) 町に戻るおつもりの方はそれまでの間、戻らないつもりの方、もしくはまだ決められない方はこれから先長期的に生活する場所を決めていらっしゃいますか

	頻度	割合
決めている	389	55.02
まだ決めていない(わからない)	170	24.05
無回答	148	20.93
合計	707	100.00

(3) 震災前、双葉町には何年間お住まいでしたか？

	頻度	割合
10年未満	51	7.21
10-20年未満	52	7.36
20-50年未満	242	34.23
50年以上	336	47.52
無回答	26	3.68
合計	707	100.00

(4) 震災前将来的に双葉町以外で生活する予定はありましたか。

	頻度	割合
はい	80	11.32
いいえ	602	85.15
無回答	25	3.54
合計	707	100.00

4. 収入についてうかがいます。

(1) 現在の世帯収入 平均：321万円 中央値：250万円

(2) 震災前の世帯収入 平均：526万円 中央値：440万円

(3) 震災後に就職活動は行いましたか？

	頻度	割合
はい(就職した)	126	17.82
はい(就職できなかった)	65	9.19
いいえ	378	53.47
無回答	138	19.52
合計	707	100.00

5. 現在の生活で困っていること、日ごろお気づきのこと、感じておられることなどご自由にお書きください。

たくさん大変貴重なご意見を頂きました。
ありがとうございました。

以上